

01 デザインの世界へ

子どもの頃、小学校の教員だった父に連れられて、よく新宮地域のイベントに参加していました。そこで体験した竹細工づくりなどを通して、モノづくりに目覚めていきました。

電子機器の設計を学ぶために高等専門学校の電子制御工学科に進学しましたが、製品の見た目や使いやすさを考えるデザインの世界に興味を持ち、卒業後に大学のデザイン学科に編入しました。在学中は、海外のデザイン手法を学ぶために、フランスやアメリカへの留学も経験しました。卒業後は都内のデザイン会社に就職し、高専で学んだことを活かして、カメラのレンズや月面探査車のデザイン、婦人体温計のサービス開発などに携わりました。

02 デザインとは

デザインと聞くと、広告やパッケージの意匠をつくる「ビジュアルデザイン」や製品の意匠をつくる「工業デザイン」を思い浮かべる方が多いと思います。デザインの分野は幅広く、新しいサービスやそれを提供する仕組みを設計する「サービスデザイン」もそのひとつです。

私が考えるデザインの定義は「人を観察し、最適な体験を提供する」です。人が自分では気づいていないけれども、潜在的に欲しているものを見つけ出し、それに合ったモノ・コトを開発することが、デザインだと考えています。

顧客が抱えている課題をデザインの力とビジネスの視点を掛け合わせながら解決し、世の中に製品やサービスを生み出していくことが私の仕事です。

03 ウェルビーイングな社会をつくる

31歳の時、デザインコンサルティングや自社製品の開発などを行う会社を立ち上げました。社名の「nae」には、「子どもたちが生きる未来の社会をより良くするための苗を植える」という思いを込めています。

個人の心身と社会が共に満たされた状態の事を「ウェルビーイング」と言い、SDGs達成につながる価値観として注目されています。弊社では、女性のウェルビーイングを高めるために、月経前症候群や骨粗鬆症といった女性特有の健康問題をテーマにした製品やサービスの開発にも取り組んでいます。「デザインの力でより良い社会を作る」、その思いをこれからも形にしていきたいと思います。



“デザインとは、人を観察し、最適な体験を提供すること”

デザイナー・実業家
nae 株式会社 代表取締役

ゆうき
篠原由樹さん (35)

1989年 柴生町生まれ

東京都在住

南小→川之江南中→新居浜高等専門学校→千葉大学・同大学院
国内外の大学で工業デザインやサービスデザインを学んだ後、都内にあるデザインイノベーションファーム会社に入社。その後独立し、2021年に「nae株式会社」を設立。同年、グロービス経営大学院にて経営学修士を取得。

デザイナーや実業家として活躍する傍ら、大学の非常勤講師や起業家プログラムのメンターを務めるなど、活動は多岐にわたる。

profile

事務所のある虎ノ門ヒルズ
ビジネスタワー前で撮影（東京都港区）



ふるさとのシンボル
「おりなすロゴ」を制作

いつかは、デザインで故郷に貢献したいと思っていたので、ブランドロゴ制作のお話を頂いた時はとても嬉しかったです。

制作する上で大事にしていたことは、「地元の方々の思いをしっかり受け止める」ということでした。高校生や地元企業とのワークショップから生まれた「織りなす」というキーワードをもとに完成したのが、「おりなすロゴ」です。四国中央市の特色を表現しながら、シンプルで使いやすいデザインに仕上げています。多くの方に活用していただけると嬉しいです。



おりなすロゴについて
詳しくはこちら▼

